

site

1

アズヌマ

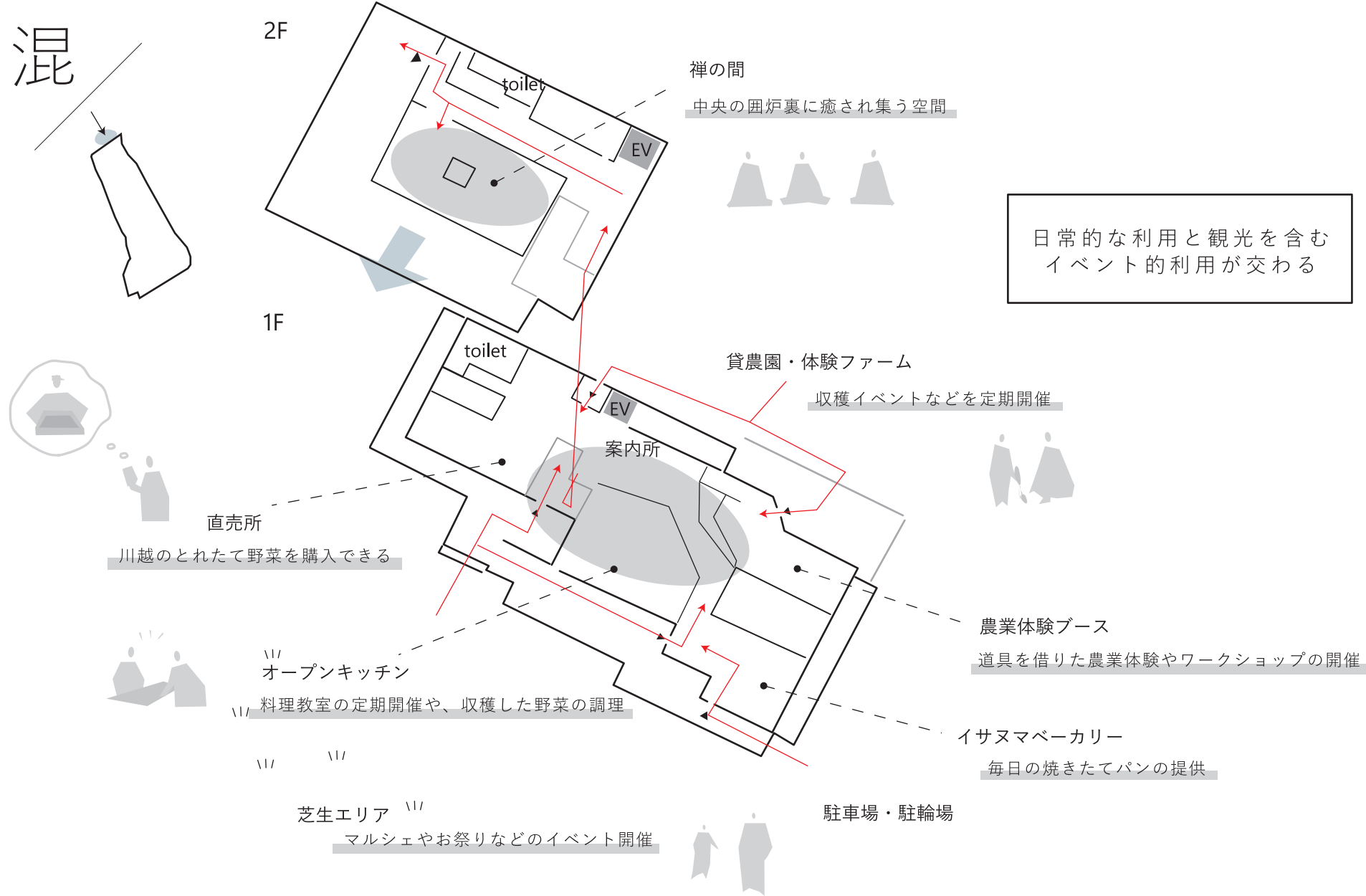
東屋 + 伊佐沼

入口を様々な方向に設け、外での各々の過ごし方から内に集う「東屋」のような居場所。
外の芝生エリアやテラスはイベント時のステージやマルシェの利用など、内に引き寄せるための仕掛けの役割を持つ。



1/75 模型

混



site

2

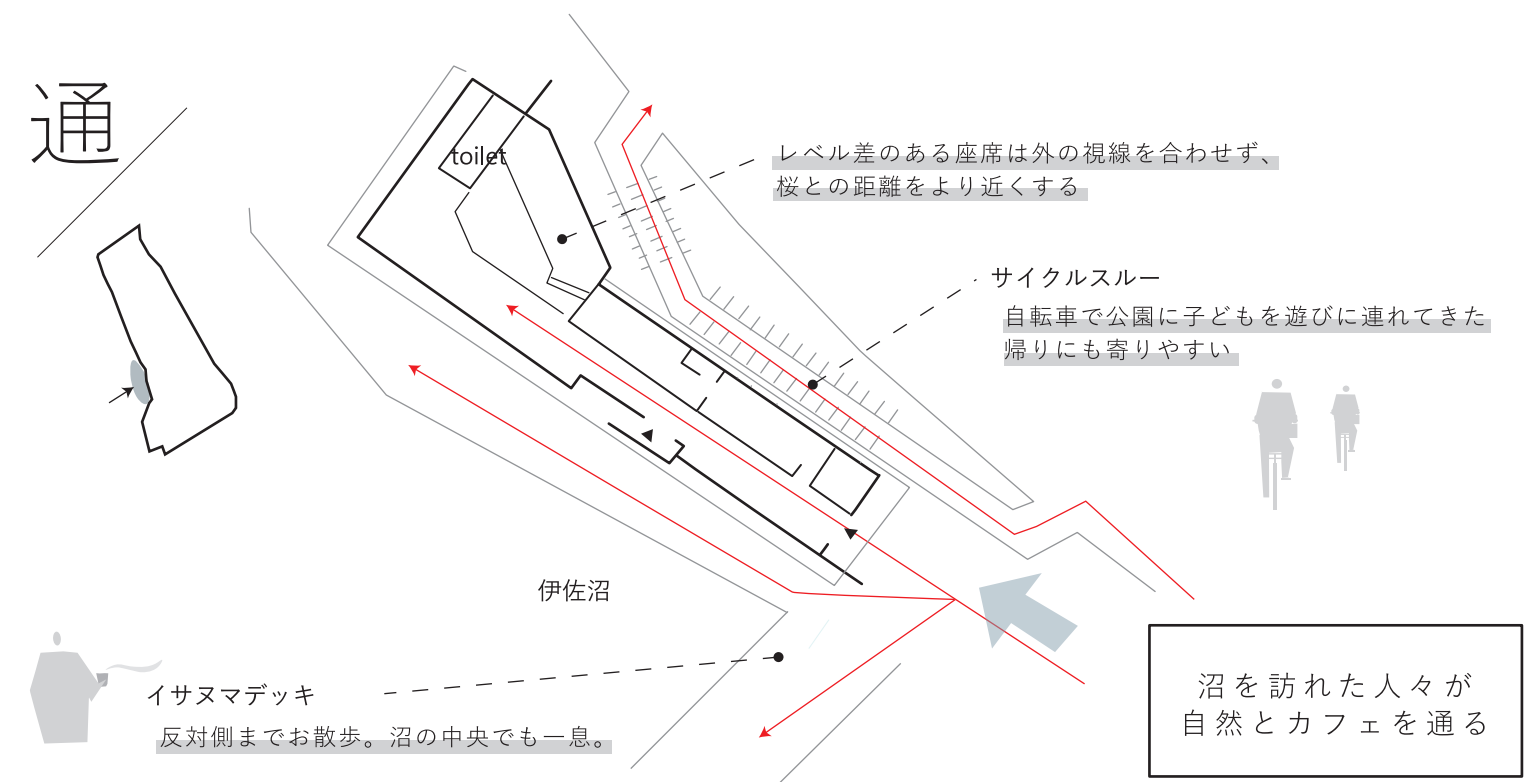
ふちのカフェ

自転車でそのままテイクアウトできるサイクルスルー。
カフェをサイクルスルーと沼で挟み、開口を設けることで、視線の抜ける方向の楽しみを増やした。



1/100 模型

通



site

3

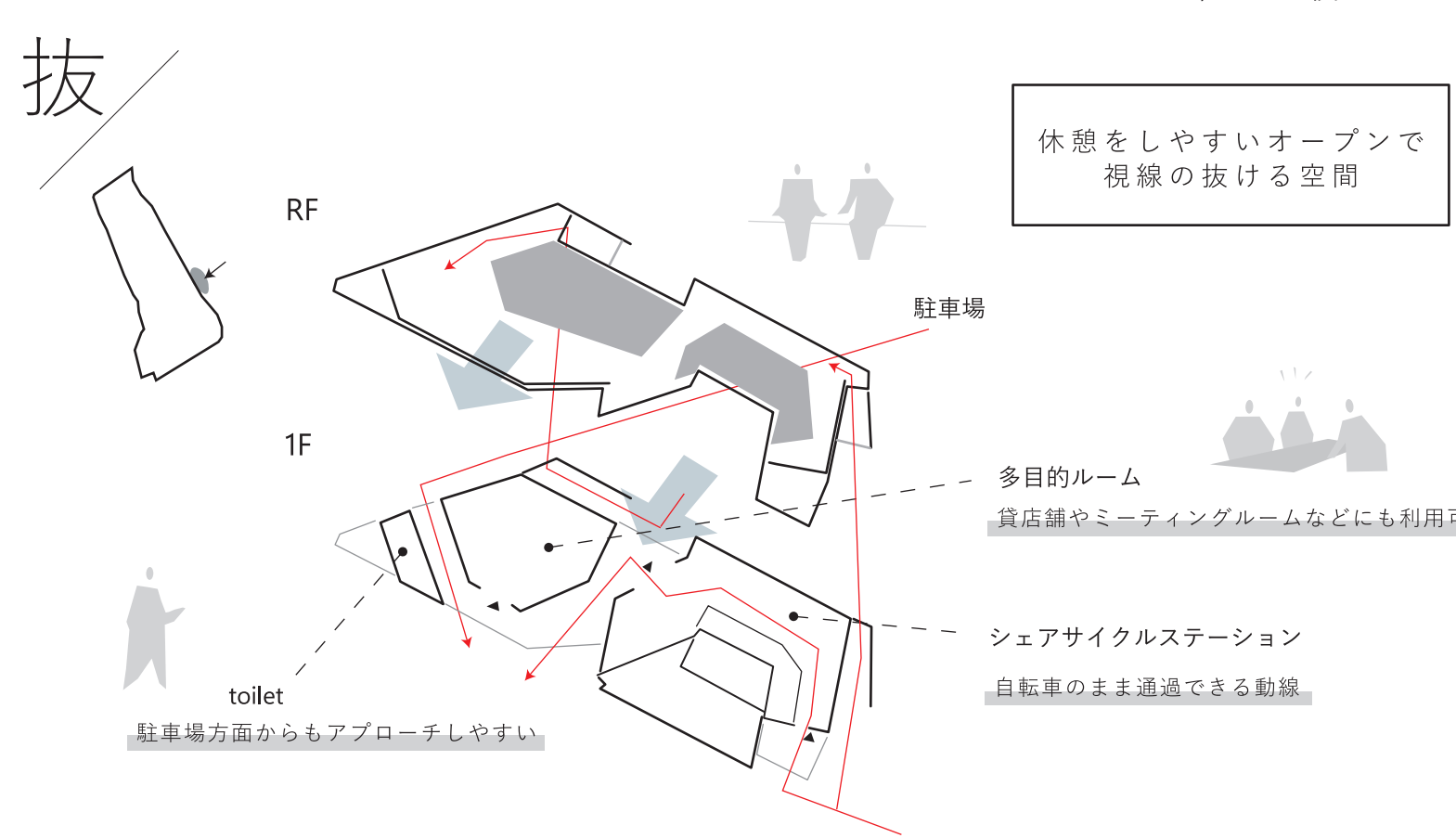
イサヌマサイクルステーション

調達したごはんを食べたり、夕日を眺めたり
散歩の途中の休憩など日常でのんびりできる大階段をサイクルステーションに併設。
整備がされていない環境を残し、自然をより近く感じられる場所とした。



1/100 模型

抜



抜

それぞれで ついでに、トータルで 観光の目的 になる場所

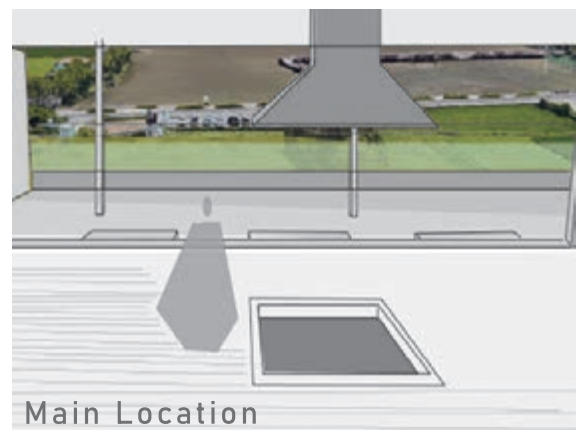
イサヌマペーカリー



直売所



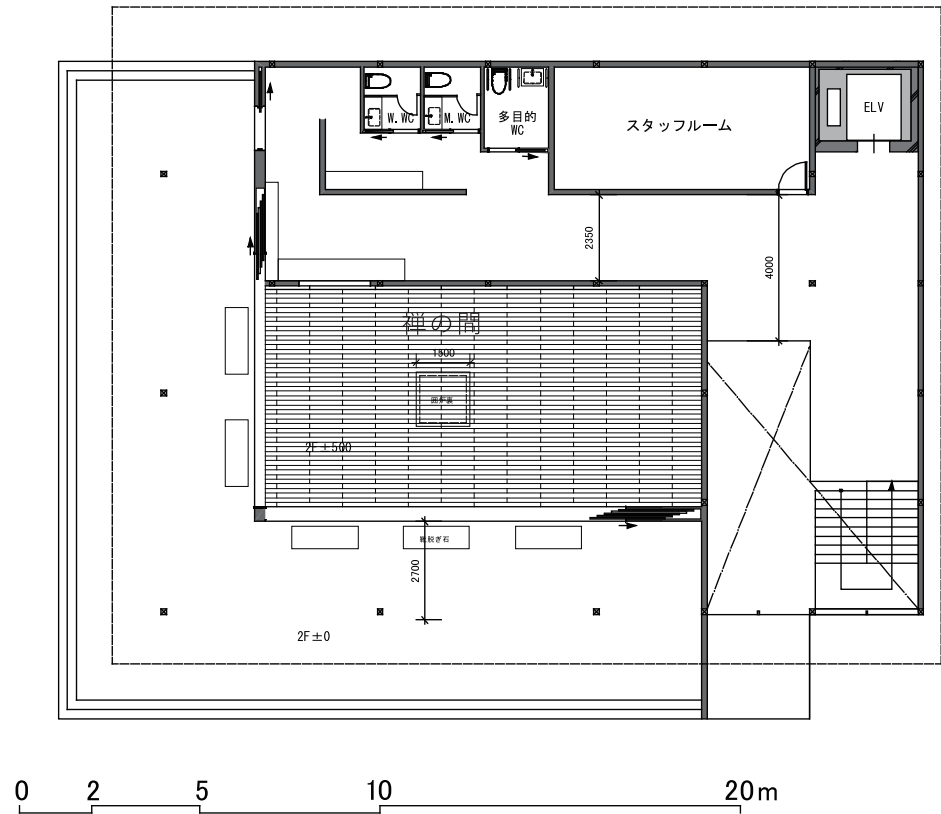
禅の間



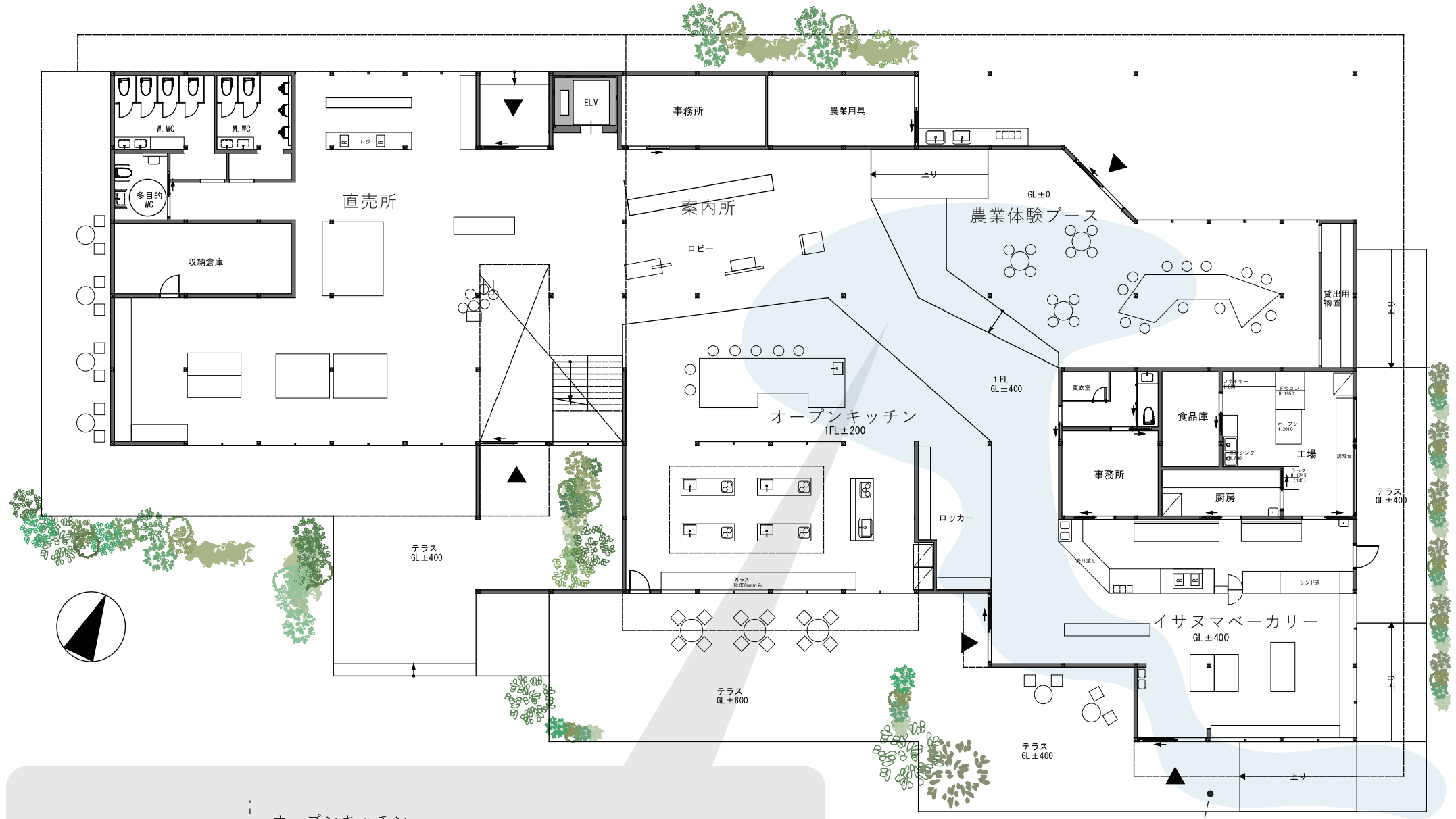
オープンキッチン



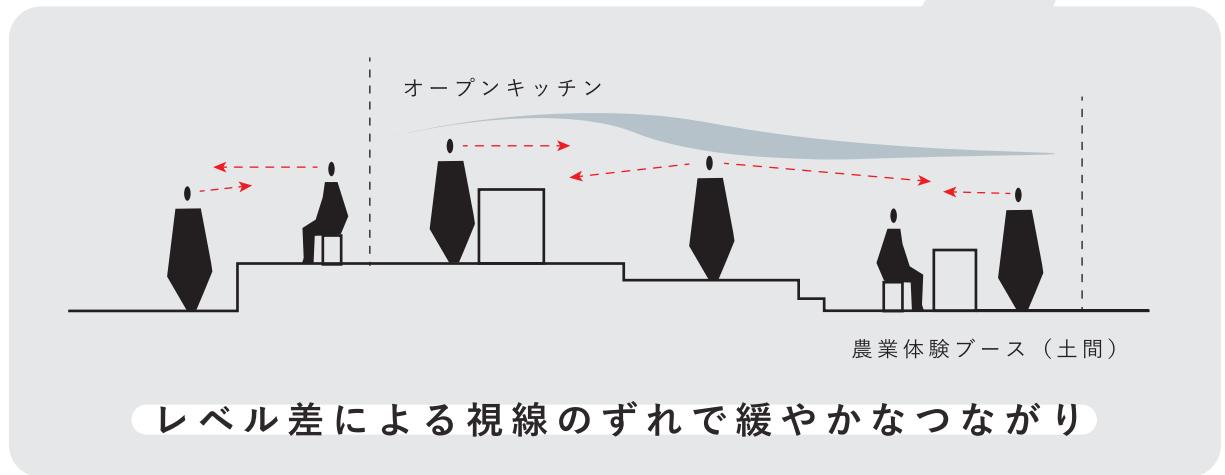
Main Location



0 2 5 10 20m



0 2 5 10 20m



レベル差による視線のずれで緩やかなつながり

外側から中央へ自然と引き込む設計

誰もが利用しやすいスロープから入口に誘導

駐車場から近い位置のペーカリーで誘い込む

壁のないオープンな内部空間が広がる

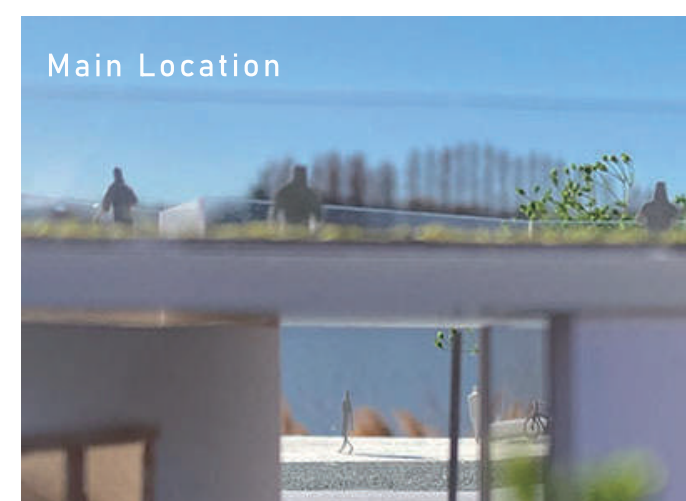
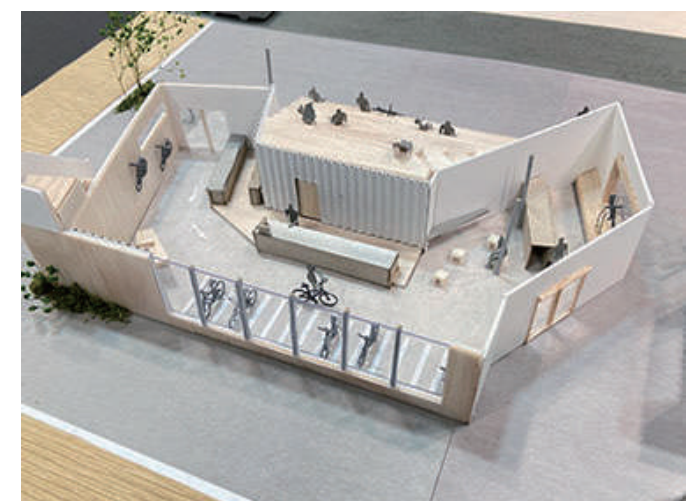


板並木の続く道路からカフェへ自然なアプローチ

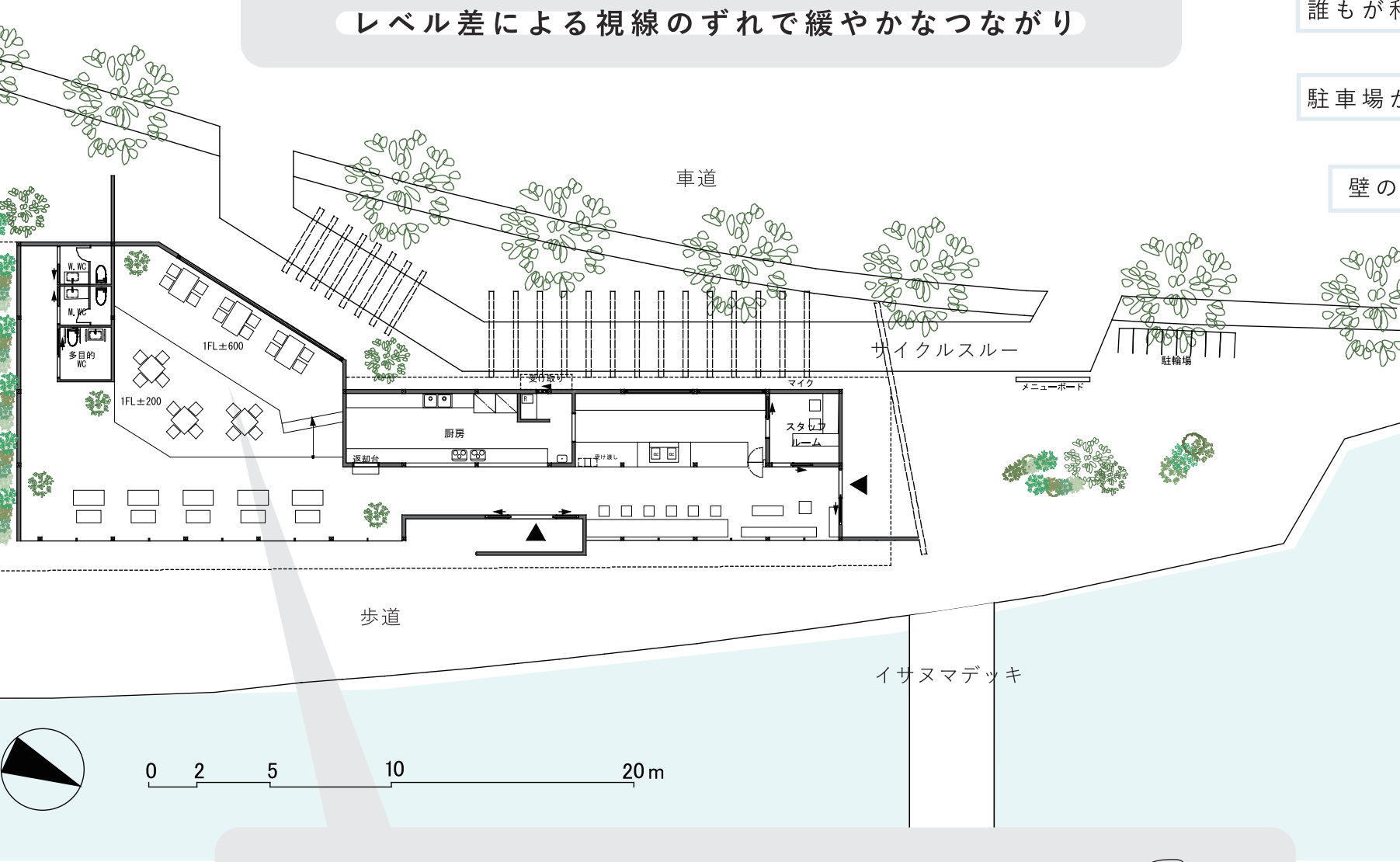


段差のある座席で自転車と視線を合わせずに繋がる

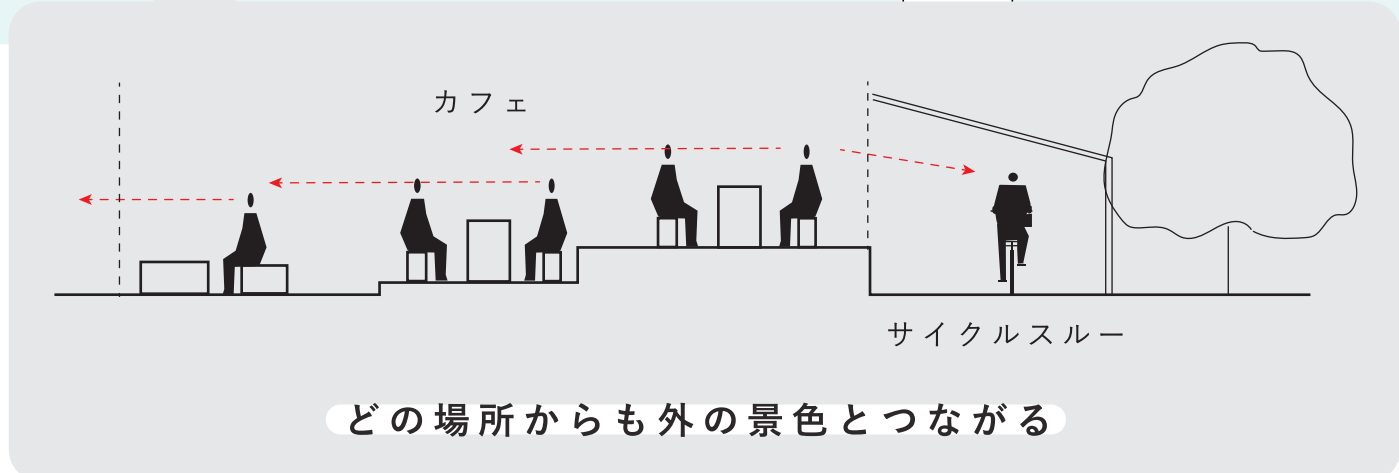
シェアサイクルステーション



通り抜けた先に沼への水平な光景が広がる



0 2 5 10 20m



どの場所からも外の景色とつながる